

## 第2回地域懇談会の記録

日 時	場 所	参加人数
平成 18 年 9月25日 (月)	市民館 会議室	市民 29 名
9月26日 (火)	文化会館 小ホール	市民 18 名
9月27日 (水)	市役所 大会議室	市民 19 名

### —第2回地域懇談会の流れ—

- (1) 開会
- (2) 基本構想原案にかかる説明
  - ① 総合計画の概略と策定の流れについて
  - ② 第1回地域懇談会結果の概要とその活用について
  - ③ 基本構想原案の概要について
- (3) 意見交換  
基本構想原案や地域のまちづくりについて
- (4) 閉会

### —第2回地域懇談会の結果—

#### 基本構想原案にかかる説明

企画政策部企画課（事務局）より、現在策定中の基本構想原案の中間報告をしました。

内容としては、基本構想原案の概要と検討過程、第1回懇談会の意見がどのように活用、反映されたかを説明しました。（※別添資料による）

また、基本構想原案に対する意見をいただきました。



## 基本構想原案にかかる参加者からの意見・提言

市民からの意見・提言	市（事務局）からの説明
<b>9月25日（月）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点での基本構想案とのことだが、将来的に宇部市等との更なる合併の話も聞くが、そうなった場合を構想の中でも考えておくべきと思うが。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長のスタンスとして市の財政を建て直してから合併について考えていくこととしており、現段階の構想には合併に係ることは触れていません。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明では総合計画策定に関することをホームページで公表されているとのことだが、パソコンを利用しない人にはわからない。市報等も活用すべきではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページは広報手段の一つであり、市の広報紙についても活用いたします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住み良さに対するイメージの中に前向きな部分が少なく、まちづくりとしてのインパクトがなく、産業政策をもっと強化すべきと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業政策に関しては、「にぎわいと活力にみちたまちづくり」の施策に対応する課題として整理しています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・Uターン希望者の就職先がなく、企業誘致を優先して考えるべきではないか。財政状況を考えて満遍なく施策をするより、企業誘致などに絞り込んでまちづくりを行い、市全体の収入が上がるようにアピールすべきと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市としても企業誘致は重要と考えています。働く場としては、企業誘致だけでなく商業振興、農林水産業振興なども積極的に取り組むこととしています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりとして何を中心にするかを考えていくべきと思う。例えば、美祿に誘致されたような軽犯罪者施設の本市への誘致や小野田駅前の寂しい感じの改善など。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10年間に取り組む計画なので、全てを包括する形になっています。その中でも、重点的なプロジェクトとして絞り込む予定であり、今後、提示いたします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地を作って、まちづくりをすべきであり、交流人口が増やせる施設の整備などの事業に取り組んで欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市核としての設定を、今回の土地利用構想案に掲げており、都市核を中心市街地として考えています。また、交流人口の施設整備については別の場所に検討していくべきと考えます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は基本構想として概論が出ているが、各論についてはいつ頃公表されるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年の9月議会で基本構想案は議会に提出するが、基本計画案は4月頃にパブリックコメントとして公表し、皆さんの意見を聞く予定です。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小野田・楠企業団地への誘致予定はあるのか</li> <li>・湾岸道路の残りの部分の整備はどうなるのか。</li> <li>・ポリテクセンター小野田での技術習得などに市としてバックアップすることはないのか。また、国が引いた場合は、市としてバックアップするなどを考えて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業団地の誘致は具体的に決まっているものではありません。</li> <li>・湾岸道路は、宇部側は2011年に予定されているが、小野田側は県の財政状況もあり、平成20年代の後半と聞いています。</li> <li>・ポリテクセンターは平成21年位に撤退することを聞いており、延長を要望しています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・須田の木地区の下水道の整備予定はどうなっているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部地区は現在、笹尾地区や竜王中学校周辺までが整備されており、理科大地区までが事業認可区域として整備の予定はあります。しかし、何年後に整備するかということはありません。</li> </ul>

市民からの意見・提言	市（事務局）からの説明
<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用構想と都市計画との調整はできているのか。不用意な都市計画区域の拡大は税金の関係もあり避けるべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画課、農林水産課等々と協議をして土地利用構想を作成しています。都市計画としては今後、都市計画マスタープランの策定を予定しており、用途等も含めて、そちらで作業していくこととなります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の財源としての見通しが見えない中で、何年先に正常な行政運営ができるか示し、市民に協力を仰ぐ形が良いと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の制度や対応が変わる中で、市としての予測がつかない状況にあります。得られる情報の中で推定して、10年先を見越したものは出していく予定でいます。その中で、施設の運営や統廃合などの問題もあるが、できるだけ情報提供をしながら皆さんの意見を聞いていきたいと思っています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・山口東京理科大学との連携についての方向性はどうなっているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在連携しているのは教育関係で、学校や地域での体験教室等です。産業関係では、大学の専門性のため市内企業と適合しない点もあるが、将来的にはもっと連携する部分は出てくるかと思っています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学との連携だけでなく、子供と高齢者がふれあい、高齢者から教わることもあり、もっと高齢者の知恵を活かすことも考えていくべきと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、小学校でも総合学習の時間にそれらのことをしているが、もっと広げていくべきとは考えています。</li> </ul>
<b>9月26日（火）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画の作成にあたって、山陽小野田市を取り巻く外部環境についてまとめられているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画の序編に「時代の新たな胎動」からみた追い風・向かい風として、社会状況が市にどのような影響を与えるかをまとめて、まちづくりの課題を抽出しています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部環境として、特に人口の動きを考慮しておくべきである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10年間を見据えた計画として、ご指摘の事項も踏まえて策定します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画を進めるには、他の行政機関、民間企業との協力体制が重要と思うが、どう考えているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画を進めるには、市単独ではできないことなので、民間、他の行政機関、周辺市町等、連携を取りながら、諸々進めていくこととしています。</li> <li>・そのため、基本構想審議会では企業の方、県の方など、様々な関係部署の方に入っただいて検討いただいています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・10年間での病院整備に関する施策はあるのか。</li> <li>・厚狭駅周辺の北部市街地について、何もせずに土地利用をイメージしてもだめだと思う。要望としては、駅の南北を結ぶ通路を設置して欲しく、それらの構想について教えて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院については、山陽小野田市病院事業将来構想検討委員会の答申で、将来的には統合して新病院を建設することができていますので、総合計画でも触れており、基本構想審議会の中でも検討されるものであります。</li> <li>・北部市街地は、土地利用構想の中で区画整理地を中心とした都市核に位置づけていますが、今後、都市計画マスタープランが作成され、詳細が決まってくると思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内企業からの商品輸送は、どのような方法がとられているか。市内には流通集積拠点がなく、企業誘致には、輸送経路へのアクセスが大事と思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの企業が使うのは、トラック便だと思います。</li> </ul>

市民からの意見・提言	市（事務局）からの説明
<ul style="list-style-type: none"> <li>厚狭の市民病院は、必要と感じており、存続の方向で構想に入れて欲しい。市民の意見をよく取り入れて欲しい。</li> </ul>	<p>—</p>
<p><b>9月27日（水）</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>市の厳しい財政について触れていない。また、広域合併の話についての取り組みも無いがどうするのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>配布資料にはないが、当然、財政や広域合併については総合計画の中で触れています。合併に関する市長の基本的なスタンスとしては、まず市の力を蓄えてから今後の合併についてを考えるもので、その時には市民へ情報提供をして住民投票等を考えていくとしています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>広域合併は大きな問題であり、民意に図って早急に方向性を出すべきと思う。それなしに基本構想を練っても中途半端になると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当面は、合併をする状況に無く、把握できる状況での計画策定をせざるを得ないため、ご理解いただきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、商工会議所で総合計画に係る提言をまとめており、工業・商業・環境ごとの分科会で検討を行っている。現在、中心商店街はどん底にあるが、将来的に期待ができるものを構想に取り入れて欲しい。提言が提出されたら是非構想に活かして欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提言内容をみて、総合計画への反映を検討したいと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>若者・団塊世代のU J Iターンが大事だと思うので、山陽小野田市に戻ってきやすいまちづくりを進めてもらいたい。直接本人にUターンを働きかけるだけでなく、親が勧めやすい環境を作るなどソフト的な部分を考えてもらいたい。 高齢化対策として、高齢者が散歩できる環境等お金をかけない形で考えて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>居住意向のアンケートでは、市内に住むのが一番との回答が多かったですが、働く場がないため、市外に出ざるを得ないといった意見も多くありました。</li> <li>これからは、ソフトを中心に行わなければならない財政事情にあるので、行政だけでなく、市民の力を借りながら進めていきたいと思っています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>将来都市像は市独自のものを考えて欲しい。どこにでもあるようなものではなく、よく考えていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本理念にあるイメージに基づいて、将来像を審議会に提案しましたが、活力が欲しいという意見があり、現在、検討しています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>国道2号バイパスの開通により、通過都市になる懸念がある。このことを考慮に入れた発展方法を考えて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バイパス建設にあたっては、国道周辺の居住者への交通渋滞や排ガス等の影響を考慮していると聞いています。市としても、ただ通過するだけでなく、お金も落として貰えるようなものを考えていきたいと思っています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>商業地域の活性化は以前から言われているが、もう少し具体的な実現性のある方向性を見出してもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商店街の活性化は20年前から様々取り組んだが成就していない。行政としては、民間にも頑張ってもらえるような環境整備は考える必要があると思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>土地利用構想にある、都市核は中心市街地を考えてよいのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市核のうち小野田駅から市民館周辺を中心市街地と考えています。また、厚狭駅周辺も区画整理地を中心として、人口が密集する都市核として位置づけています。</li> </ul>

市民からの意見・提言	市（事務局）からの説明
<ul style="list-style-type: none"> <li>旧小野田市では分散型のまちづくりをしてきたが、山陽小野田市は中心市街地を設定して、それを中心にまちづくりをするというところか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいまちづくり3法でも郊外から中心市街地への方向もあり、今後策定する都市計画マスタープランでも、同様の方向になると思います。詳細は都市計画マスタープランの策定の中で審議されることではあるが、今回の土地利用構想案については、都市計画課とも調整しながら作成しており、これを踏まえて都市計画マスタープランも策定されるものと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>山陽小野田市としてのブランドが欲しい。山陽小野田市固有のブランドは何か、それを作り出すことを考えてもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の行政課題として受け止めます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>総合計画のような大事な話をするのに参加者が少ないが、人が参加できる工夫があるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の広報紙やホームページ、各公民館へのポスター、チラシ等で周知を行なうとともに、公民館の職員からも声かけをしていただきましたが、参加者が少ない状況でした。今後、これを反省に新たな方法を考えたいと思います。</li> </ul>



## 開催の様子（写真）

<9月25日>



<9月26日>



<9月27日>

